

学術情報センターだより

Library and Information Technology Center Nagoya Women's University

読書から学ぶ知恵

三宅 元子 (家政学部 生活環境学科長)

自然災害や感染症パンデミック(pandemic:世界的大流行)は、社会の価値観を揺るがし、生活を一変させました。このような「困難な時代」をどのように生きるかが、現代の私たちに与えられた課題ともいえます。そして、それらの解決には、時代に応じて変化できる人間の知恵が求められ、ヒントは書物の中に隠されていると思えます。

皆さんと本との出会いは、どのようなものだったのでしょうか。読書好きの人もそうでない人も、小説、エッセイ、評論、専門書などを手にしたことがあり、それらが日々のくらしや学習に役立ったり、共感を覚えたり、心の糧となった経験があると思えます。従来から私たちは、読書から得た情報を知識とし、行動に活かしながら過ごしてきました。しかし、実体験や行動には限界があります。このような時には、先人たちが経験したことを本を読むことで知識として得、著者の経験から夢を膨らませることや困難な壁を乗り越える術を学び取り、先を見通す力を身に付け、必要な場面に柔軟に対応し変化を遂げていく知恵へと変化させることが大切ではないのでしょうか。「知識」は知っていることを指しますが、「知恵」とは「物事の理を悟り、適切に処理する能力」(広辞苑)であり、これからの読書には重要だと思えます。

ビジネス関係では、松下幸之助 やピーター・F・ドラッカーなどの著書から、知的生産性の向上やセルフ・マネジメントの方法を知るなど、キャリアアップに役に立つ知識や考え方が得られ

ると思います。歴史の本からは、過去と比較しながら現在を考えることも可能です。例えば、教科書から、江戸という時代は長く繁栄したという事実がわかります。また、『徳川がつくった先進国日本』(磯田道史 著)などからは、260年以上の間「徳川の平和」(Pax Tokugawa)が維持された要因を江戸人のメンタリティー(mentality:知力、精神力)の成果と捉え、危険や不安に取り囲まれた現在に対して、目先にとらわれて行動するのではなく長期的な視点を失わないようにする教訓が得られます。また、女性の生き方を考える上でも参考になるでしょう。技術関係も同様で、私たちは「～の方法」や「～の作り方」を読み、すでに経験された方法を日常の場面に応じて活用しています。研究においても、新しい何かを形作る時には、学術書から先行研究を調べ、それらの知見から新規性を見つけ出ししていくことが不可欠です。このように、読書は、私たちに時代に合わせて変化させることのできる知恵を与えてくれます。

現在、大学の図書館では、多くの学生が研究や学習目的で書物を借り、自習のための空間としても利用しています。人によって目的はさまざまですが、何気なく手にした本からも多くの有益な知識や指針が得られます。読書を通じて得られた知識は自分の力として身に付けることができるのです。読書を通して知識が醸成され、より豊かに生きていくための知恵となることを期待してやみません。

◎ 目次 ◎

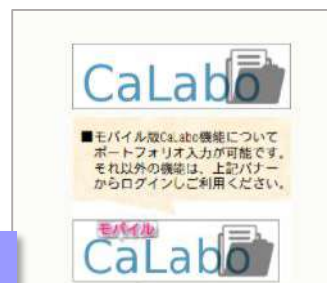
巻頭言	p. 1
学術情報センター リモート学習支援について	p. 2
ちえりっぷ 図書館ヘルプデスク活動について	p. 3
おしらせ	p. 4

学術情報センター リモート学習支援について

後期授業においても対面授業と組み合わせて課題学習が進められる中、学術情報センターでは、リモートで利用できる学習支援を推進しています。自宅から講義を受講したり、学習成果を記録したりするのに便利なCaLaboのほか、自宅での自学自習をサポートするWebサイトも特設しています。

リモート学習のための CaLabo/Glexa 活用法

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、遠隔授業でCaLabo/Glexaを利用する科目が増えています。CaLabo/Glexaでは、eポートフォリオだけでなく課題の提出、テストの実施、教材や資料のダウンロード、動画の閲覧等ができます。また、自宅等学外からでも利用でき、Glexaはスマートフォンにも対応しています。科目により利用する機能が異なりますので、先生の指示に従って利用してください。



アクセスはこちら→
※スマートフォンからGlexaにアクセスする場合は、
下段の「モバイルCaLabo」からログインしてください。



自宅学習支援サイトについて

図書館では、自宅での学習やリサーチを支援するため、「図書館の自宅学習支援サイト」に情報をまとめました。

臨時ニュースや、本学で提供している電子資料・データベースに学外からアクセスする方法を案内しています。また、就職活動や資格取得を目指す人のための各ポータルサイトへのリンクも掲載しています。目的に応じて各コンテンツにアクセスし、自宅学習を充実させましょう！

図書館の自宅学習支援サイト

公開日: 2020年07月27日


【NEWS】臨時のお知らせ

- 中日新聞・東京新聞記事検索データベースの同時利用アクセスが10アクセスに拡大されています。(2020/07/02)
- ルール電子図書館の臨時リモートIDが発行されました(限定20)。ご利用希望の方は大学図書館までご連絡ください。(2020/07/02)


>> 以前のお知らせはこちら

自宅学習支援コンテンツ


名古屋女子大学図書館では自宅学習を支援するコンテンツを公開しました。目的に応じて、コンテンツのアイコンをクリックしてください。




臨時のお知らせ




リモートアクセス



自宅でも読書!



網際検索!



問い合わせ

各出版社からの
情報提供など

契約データベース
の学外アクセス

図書館の
就活支援サイト

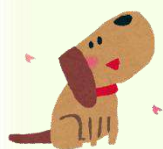
資格取得
支援サイト



ちえりっぷ 図書館ヘルプデスク活動について

令和2年6月から図書館サポーター ちえりっぷの新たな活動として、学生向けのヘルプデスクがスタートしました。ちえりっぷによる「図書館ヘルプデスク」では、図書館を利用する学生からの質問をちえりっぷが受け、ピアサポートを行う活動です。今年度は新入生オリエンテーションが実施されなかったことから、困っている1年生を「ヘルプ」したいという気持ちから活動が始動しました。

後期も、図書館1階カウンター横に特設席を作り、図書館サポーターが昼休みや授業の空き時間を活用し実施していく予定です。活動についての体験談を、ちえりっぷメンバーから紹介します。



「ちえりっぷ ヘルプデスク活動について」

文学部 児童教育学科 幼児保育学専攻 3年 野田 育海

「困っている人を助けたい」。そんな思いからちえりっぷの『ヘルプデスク』という活動は始まった。図書館の入口からよく見える場所に座りながら「なにか困っている人はいないか」「どんな利用者が多いか」など観察し、サポートをするといった活動だ。

最初は施設の使い方がわからない1年生を対象に行っていたが、次第に2年生や3年生など、あまり図書館を利用したことがない学生も相談に来てくれるようになった。時には本棚へ案内したり、書籍の検索方法について教えたり、パソコンについて尋ねられたりすることもあった。活動後は、その日の様子を簡潔に紙にまとめ、メンバー同士情報共有を行うことでどんな相談が多いかなどを知ることができた。

この活動を通して様々なことがあったが、相談に来たときは不安げな表情をしていた人が、帰り際には「ありがとうございました」と感謝の言葉と笑顔を見せてくれたことは、今でも忘れられないくらい嬉しかったことの一つだ。

この活動のきっかけである「困っている人を助けたい」という思い。

それはこの学園の「親切」に通じると私は思う。



ちえりっぷヘルプデスク@図書館1F カウンター横

Q&A

ヘルプデスクに寄せられた質問

Q1：英語の多読本（ORTシリーズ）はどこにありますか？

A1：図書館ラーニングcommons向かって右奥の棚です！
※レベル別になっているので、難易度に注意して借りてね！

Q2：パスワードの変更をしたいのですが…

A2：学内パソコンにログインするときのパスワード変更は、
図書館1Fで仮パスワードを発行してもらってください。

Q3：レポートの課題で困っています…どこから資料を探そう？

A3：図書館のOPAC（蔵書検索）でテーマに合った本を探しましょう！
レポートにまとめるときは、Wordの機能を使って文書を整えましょう♪



▲レポート課題の困りごとに、ノートPCを使ってレクチャー！



▲初めて実習に行く学生に、先輩ちえりっぷがアドバイスする場面も…

ヘルプデスクを実施する中で、寄せられた質問や問題点などをちえりっぷのメンバー同士で共有し企画改善を進めています。また、時にはデスクを離れて館内を見回り、困っている学生に声がけるなど、どんどん積極的に展開しています！
また、ヘルプデスク活動を進める中で、ちえりっぷのほかの活動にも興味を持ってくれる方がたくさんいました。現在は、新規参加メンバー3名が仲間入りし、「今できること」の実現に向けて動き始めています。ちえりっぷが気になる方は、ぜひ参加してくださいね。

★ちえりっぷの活動・申込方法は[学術情報センターWebサイト](#)をご覧ください。



お知らせ

新型コロナウイルス関連のサービス変更について

学術情報センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度以下のように開館時間を変更してサービス提供を行ってきました。

2020年

4月

～10月

With コロナ
図書館のあゆみ

4月当初は時間短縮で開館サービスを継続しましたが、愛知県非常事態宣言を受けて4/14(火)～5/6(水)は臨時休館となりました。休館中の対応として、郵送貸出サービスにより図書館の本を利用者に届けました。

その後、課題学習支援として5/7(木)～8/5(水)は通常どおり開館しましたが、再び愛知県非常事態宣言を受けて時間短縮での開館となりました。10月現在、通常開館を再開していますが、グループ閲覧室・AVコーナー・PC演習室等の利用制限を設け、ノートPCの館内貸出回数に上限を設けています。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



▲閲覧席の飛沫防止パネル

明日のために、みんなのために

学術情報センター施設の利用にあたって、以下のマナーにご協力ください。

- ・37.5以上の発熱、ひどい咳、体調不良を感じる際は利用を控えてください。
- ・利用の際は、マスクを着用してください。
- ・手指除菌をしてから入館してください。



感染防止対策！館内巡回中

図書館では定時館内巡回を行い、PC自習室のパソコン・閲覧席の除菌清掃を行っています。また各階に除菌シートを設置していますので、席の消毒に使用してください。なお、閲覧席には飛沫防止パネルも設置しました。少しスペースは狭くなりますが、皆さんで協力してコロナ禍を乗り切りましょう！



新着資料

やさしい英語の本をたくさん読むことで英語力を身につける学習法、英語多読。図書館1階のラーニング・コモンズにたくさんの冊子体資料を揃えています。

このたび、[Maruzen eBook Library](#) に英語多読資料の電子書籍が仲間入りしました。

インターネット環境が整っていれば、自宅など学外でも利用できます。英語学習のためにたくさん利用してください。



◆学内でのアクセスは…

[Maruzen eBook Library](#) > 絞り込み > ジャンル > 人文科学を検索してください。

◆学外からのアクセスは…

リモートアクセスのページで「学外からのログイン」をしてから利用してください。

To learn English more...

カンパセーション・サロン

ここをクリック！

カンパセーション・サロン
好評開催中！(10/12～12/28)

ソフトウェア更新について

栄養計算に使用されている「エクセル栄養君」がVer.9へバージョンアップしました。厚生労働省が定める「日本人の食事摂取基準2020年版」に対応した最新バージョンとなります。バージョンアップに伴い、栄養君のアドインボタンの表示方法が変更されていますので、利用の際はマニュアルを確認してください。

◆マニュアルはこちら

[学術情報センターTOP > パソコンを使う > ヘルプ\(マニュアルなど\)](#)

ヒント

エクセル栄養君は南2-103、南2-301、図書館PC自習室にインストールされています。



閲覧席の片隅に、美しく咲く胡蝶蘭。コロナ禍で休館中の今春、ひっそりと花をつけている姿が見られました。

今は来たる春に向けて冬たくを始めよう。図書館2F北閲覧コーナーに会いに来てくださいね。

はみだしコラム 花だより

名古屋女子大学 学術情報センターだより 75号

発行日: 令和2年10月30日 発行: 名古屋女子大学学術情報センター
学術情報センターWebサイト <https://lsic.nagoya-wu.ac.jp>

〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40
TEL: 図書館(052)852-9768 システムサービス(052)852-1120